

2022年度 ITJ安全衛生・健康管理重点方針



2022年4月1日

株式会社 IHIターボ

全ての職場で「体を張った作業」を撲滅し、「緻密な準備」を実施する。
現場作業と指導に乖離の無い一体となった安全管理を実現すると共に、
全員参加で「IHIグループ安全基本原則」を完遂する。
いきいきと、安心して働くことができる、生活できる環境を実現するために、
従業員・組織のウェルビーイングを高める活動を全員で取り組む。

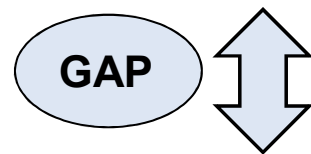
1. 目標

安全衛生目標: 災害ゼロ

健康推進目標: 健康度調査の全11項目の平均値:80%以上の職場で改善

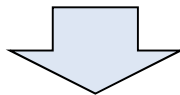
ITJの災害発生における共通の問題点

作業員(被災者)は、リスクがあるという認識が無いまま作業を行い受傷



なぜ認識の違いがあるのか、
認識の違いに気づけないのか

管理監督者は、こんなやり方はしない、ルールを守るものと考えていた



「気づかない」を気づかせ、全員が共通の認識となる取り組みを推進

作業員と管理監督者が、コミュニケーションを取り、文章として可視化し、
共通認識化する。手段として、KYMとリスクアセスメント等を活用。

2. 安全管理重点課題・施策

(1) 全員参加による安全最優先の職場づくり

- ・「①体を張った作業撲滅，②形骸化しているルールはないか，③職位上下なく相互注意できるか」を管理監督者，作業者全員で点検し，ルールを守り守らせる，安全最優先の職場を実現する。
- ・クロスパトロール，自部門パトロール，是正確認パトロール等の活動を推進し，全従業員の安全意識の向上，現場の不安全状態の改善を図る。
- また現場カメラ等も活用し，定点観測による不安全行動の抽出，分析，是正に取り組む。

(2) 「グループ安全基本原則」の実作業への確実な落とし込み

- ・KYMとリスクアセスメント活動により「グループ安全基本原則」を具体化し浸透させると共に，作業計画段階におけるリスクに「グループ安全基本原則」を確実に反映させる。
- リスク・対策について、作業者と管理監督者がコミュニケーションを取り、文章として可視化し、共通認識化する。
- ・過去に発生し，災害頻度の高い「はさまれ・巻き込まれ」「手工具使用作業」や「にくい作業」の防止に注力する。

(3) 他部門の災害・過去災害を自部門に置き換えた安全対策の推進

KYMや職場ミーティングを通して，他部門の災害を自部門の災害に置き換えた注意喚起・安全対策を実施する。

(4) ICTの積極的活用による安全管理活動のレベルアップ

災害情報・教育等にICT(動画，3D，VR等)を積極的に活用し，理解度の向上を図る。

各種安全衛生活動において，Teams等の活用によりコミュニケーションを推進する。

3. 健康管理重点方針

(1) 活力を生むウェルビーイング活動の強化

・個人の活力向上 ～一人ひとりの主体的な健康づくりの推進～

管理監督者、従業員が一丸となり、活力の土台となる健康づくり(運動・睡眠・食事・禁煙など)を実践していく。

重点項目: ①運動推奨 ②禁煙推奨

・職場の活力向上～いきいきと働く職場づくりの推進～

人事担当者および産業保健スタッフは職場のマネジメント系列と連携し、従業員同士が相互に相談しやすい職場風土の醸成に努め、職場健康度調査を利用した職場改善活動を行う。

(2) 基盤となるヘルスケアの継続

・健康リスク保有者への対策強化

こころとからだのリスク保有者に対して、産業保健部門と連携し対策を進める。

①メンタル不調者への適切な対応

②健康リスク低減

a) 疾病予防対策の推進と、適切な就業措置管理

b) 特定保健指導およびリスク保有者への指導と 健診結果指導に基づく
従業員の自己健康管理の推進

③治療と職業生活支援の継続

・コロナ等感染拡大予防対策

熱中症・感染症の予防策を徹底し、特に新型コロナウイルス感染対策は「濃厚接触者を出さない」方針と「距離、マスク、時間」の対策を継続する。